

実践型人材育成セミナー

福沢経営塾

第10期 募集開始

2017年10月開講
(定員24名)

講師陣

主幹講師(経営戦略担当)



TAKAHASHI Kazuo
代表
TAKAレジネスマネジメント研究所

高屋敷 哲雄

事業の基本はマーケティングである。事業戦略、商品開発、営業戦略など事業運営には数々の戦略が必要となる。気合いや根性、又真面目に理論を学べば、事業が継続するほど簡単な時代ではない。徹底して(考える)ことである。自ら(考える)ことである。考え抜くためのフレームワークに挑戦し、必ず(解)アイデアに帰結すべし。そして、判断決定した(解)をやり抜く力を身に付けた実践型マーケティング講師を実行する。

《変化が常態》

スピード感をもって変化に対応し、挑戦する人材こそが必要。

「働き方」が変わる。より効率的、そして、より生産的に動くことが要求されている。

今は、平時ではなく、異常時であり転換期ととらえるべし。急速なデジタル化やグローバル化の進展、顧客ニーズの多様化といった環境変化のなかで、本業を守るだけの経営では通用しない時代がすぐ目の前にある。明日、従来の経営戦略では通用しないかもしれない。

常に新しい発想、そしてイノベーションが必要だ。変化が常態化する中で、本業が成り立たなくなることへの危機感を抱き、革新と新事業の創出に挑戦する有志、共に学ぶ12回、二年間の福沢経営塾に来たれ!

特別講師(戦略会計担当)



如水監理法人パートナー
如永務理士法人代表社員
公認会計士・税理士

松尾 拓也

経営戦略を習得するには、「会計」が必要ですが、数値の羅列や専門用語が邪魔をして残念ながら、「会計」を敬遠している経営者や経営幹部が多いのではないのでしょうか。しかし企業経営には、「会計」から読み取るべきこと、「会計」を見て判断をすべきことが多く存在します。経営者や経営幹部の方に必要なのは、簿記や税法の知識ではなく、「会計」を読み解く力です。経営戦略と会計の繋がりを共に学習できればと思っております。

特別講師(企業法務担当)



弁護士法人
永代共同法律事務所
代表弁護士

小野 直樹

世間では、光学・電子機器メーカーの元役員らに対して500億円超の賠償命令が発せられ大きく報道された。企業法務分野では、紛争発生後の紛争解決のみならず、紛争を予防する「予防法務」、さらには、経営戦略と結びついた戦略法務の重要性が唱えられて久しいが、その具体的な有用性を理解し、構築、実践している企業、企業人はあまり多くはない。実際の事例も踏まえ、実践的な法務リスクマネジメントの活用術に取り組む。

特別講師(生産性改善担当)



合同会社サポト代表
事業承継士

山元 証

企業が正しく利益を上げるためには限界利益の確保が必要です。そのためには生産性向上を日々追求し続ける事が経営者の使命です。まずはSWOT分析やPPM競争戦略の手法を用いてロールプレイングを行ないます。更に自身が経営者として32年間で5人の工場を400人のグローバル企業に育てた肝を語り、現在、中小企業サポーターとして日々国内外の様々な業種の会社を回り見つけた良い企業事例を出来る限り多く紹介、解説します。

